

第5章 施策展開

第4章で示した目標の達成に向けて、目標毎に具体的な施策を示します。




なお、各施策の推進にあたって基盤となる「道路・公共交通ネットワークの形成に向けた施策」については、重点施策として位置づけ、その推進を図っていきます。また、誰もが移動しやすく活力と魅力ある交通環境を目指すにあたり特に強化が必要な公共交通については、ネットワーク形成だけでなく、主要な目的地となる中心市街地の魅力創出や公共交通利用環境の向上、市民への利用啓発など、公共交通利用促進につながる施策についても、重点施策として位置づけ、重点的に施策推進を図ります。

表 目標ごとの施策一覧



※各目標において主要となる施策を黒字で表示

計画理念	目標	施策の方向性	施策	重点
小山の産業・ひと・未来を支える 活力と魅力ある交通環境づくり	目標① 産業振興・中心市街地活性化等に資する交通環境の実現	1-1 産業振興等を目指した道路交通の円滑化	・幹線道路網の整備 ・市内ボトルネック解消に資する道路改良	①
		1-2 小山の顔となる中心拠点における回遊性の向上	・民間と連携した街路空間の活用・維持管理 ・駅周辺の駐車場適正配置や駐車場の出入口見直しの検討 ・西口駅前広場再整備やペDESTリアンデッキ設置の検討 ・シェアサイクルの利用促進、ポートの充実、将来的に新たなシェア型パーソナルモビリティの導入検討	②
		1-3 まちづくりと連動した交通環境の改善	・新駅設置に向けた検討 ・新駅設置に併せた道路整備の検討	
	目標② 定住人口と交流人口の増加に向け、子育て世代や交通弱者、来訪者等がより移動しやすい環境の実現	2-1 おーバス等の新設・増設等の利便性強化	・おーバスの新規路線の追加 ・おーバスの運行本数の増加 ・おーバスの通勤時間に対応した運行時間帯の延長 ・渋滞等を考慮したおーバス時刻表の整備 ・商業関係者との協働によるバス利用サービスの推進、市内企業等との協働によるバス運行の検討 ・新交通システム導入検討	③ ④
		2-2 上記以外の誰もが利用しやすい公共交通等利用環境の改善	・norocaの利用普及 ・キャッシュレス決済の導入 ・自転車活用推進計画の策定、自転車走行環境の整備 ・MaaSの導入検討 ・サイクル&バスライドの増設、利用促進 ・ノンステップバスの導入 ・デジタルサイネージの整備検討	再
		2-3 安全・安心に移動できる交通環境の確保	・幹線道路等の歩道拡幅等による歩行者空間の確保、バリアフリー化 ・狭隘道路の対策検討	
	目標③ 高齢者の方々がイキイキと活動するための外出環境の実現	3-1 郊外部等の交通不便地域での移動の選択肢の増加	・AI型デマンドバス予約システムの導入検討 ・定住自立圏に位置付けられた公共交通広域連携の推進(結城市、野木町) ・市民ボランティア・福祉施設の移送車両の活用等互助による輸送の構築 ・グリーンスローモビリティ、ライドシェア等の導入検討 ・サイクル&バスライドの増設、利用促進【再掲】	⑤
		3-2 高齢者にも利用しやすいバス利用環境の改善	・高齢者の運転免許自主返納支援(おーバス終身無料乗車券交付)の継続 ・ノンステップバスの導入【再掲】	
		3-3 中心拠点と郊外部をつなぐ公共交通の利便性強化	・おーバスの新規路線の追加【再掲】 ・おーバスの運行本数の増加【再掲】 ・渋滞等を考慮した時刻表の整備【再掲】 ・新交通システム導入検討【再掲】	再 再
	目標④ 技術革新を見据え、多様な交通手段を選べる環境の実現	4-1 AI、自動運転等の最新技術の活用による公共交通等のサービス向上	・MaaSの導入検討【再掲】 ・AI型デマンドバス予約システムの導入検討【再掲】 ・バスへの自動運転技術活用に向けた検討 ・シェアサイクルの利用促進、ポートの充実、将来的に新たなシェア型パーソナルモビリティの導入検討【再掲】 ・デジタルサイネージの整備検討【再掲】	⑥ 再
	目標⑤ 環境や経営にやさしい持続可能な交通環境の実現	5-1 自動車依存の緩和に向けた市民の環境意識の向上	・モビリティマネジメントの実施 ・エコ通勤の推進	⑦
		5-2 渋滞緩和に向けた道路交通体系の構築	・幹線道路網の整備【再掲】 ・市内ボトルネック解消に資する道路改良【再掲】	再
		5-3 効率的な交通体系の確立	・都市計画道路の見直し検討 ・バスへの自動運転技術活用に向けた検討【再掲】 ・商業関係者との協働によるバス利用サービスの推進、市内企業等との協働によるバス運行の検討【再掲】 ・バスオーナーサポーターの拡大	

5-1 目標 1「産業振興・中心市街地活性化等に資する交通環境の実現」の施策展開

施策名	幹線道路網の整備 	
担当課	建設政策課、道路課、都市計画課	
施策概要	市内の産業拠点と高速道路等までの移動の円滑化を図るため、小山環状線、外環状線の整備を促進するとともに、広域へのアクセス道路等の市の幹線道路の整備を推進します。	
取組時期※	短期(～令和 7 年(2025 年))	中長期(～令和 22 年(2040 年))
		

(整備予定の路線一覧を次頁に示す)

施策名	市内ボトルネック解消に資する道路改良	
担当課	建設政策課、道路課	
施策概要	道路交通の円滑化を図るため、一般県道大戦防小山線や主要地方道小山壬生線等の市内のボトルネック区間での道路改良を推進します。	
取組時期	短期(～令和 7 年(2025 年))	中長期(～令和 22 年(2040 年))
		

(整備予定の路線一覧を次頁に示す)

※取組時期：各施策の取組時期の定義を下記の通り示します。

定義	短期(～令和 7 年(2025 年))	中長期(～令和 22 年(2040 年))
短期での実施を目指す		
中長期での実施を目指す		
継続実施		


表 整備予定の路線一覧

路線名		整備時期※						中長期 ~2040 (~R22)
		短期						
		2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)	
①	市道 9 号線	→						
②	(一)小山城内線	→						
③	(主)小山壬生線【渋滞解消】	→						
④	小山下野線西通り	→						
⑤	(主)小山栃木線	→						
⑥	(主)小山栃木線	→						
⑦	(主)小山栃木線	→						
⑧	(一)小山下野線	→						
⑨	市道 7 号線	→						
⑩	(一)大戦防小山線【渋滞解消】	→						
⑪	(都)3・5・115 城南高校線						→	
⑫	(都)3・5・114 笹原線						→	
⑬	(都)3・4・101 城東線	→						
⑭	(主)小山環状線	→						
⑮	寒川・間中アクセス道路	→						
⑯	(主)小山環状線	→						
⑰	市道 30 号線	→						
⑱	網戸・迫間田アクセス道路	→						
⑲	小山外環状線	→						
⑳	市道 34 号線	→						
㉑	(都)3・4・106 間々田南通り						→	
㉒	(都)3・4・7 小山野木線	→						

※整備時期

各路線の整備時期の定義を下記の通り示します。


定義	短期(～令和 7 年 (2025 年))	中長期(～令和 22 年(2040 年))
短期での実施を目指す	→	
中長期での実施を目指す		→
継続実施(検討を含む)	→	→

施策名	民間と連携した街路空間の活用・維持管理 重点	
担当課	新都市整備推進課	
施策概要	歩道を活用したオープンカフェの設置やパークレットの設置等、中心拠点における回遊性向上に向けた街路のあり方を検討し実現を目指します。	
取組時期	短期(～令和 7 年(2025 年))	中長期(～令和 22 年(2040 年))
		



出典：小山市テラス
オヤマ社会実験


図 テラスオヤマ実施の様子

施策名	駅周辺の駐車場適正配置や駐車場の出入口見直しの検討	
担当課	都市計画課、新都市整備推進課	
施策概要	小山駅・間々田駅周辺での歩きやすい環境を創出することを目指して、小規模駐車場等の集約・適正配置や、歩行者と自動車の錯綜を減らすための駐車場の出入口箇所の見直しを検討し実現を目指します。	
取組時期	短期(～令和 7 年(2025 年))	中長期(～令和 22 年(2040 年))
		





出典：まちづくりと連携した駐車場施策ガイドライン(基本編)
(国土交通省都市局、平成 30 年(2018 年)7 月)

図 駐車場配置の適正化のイメージ

施策名	西口駅前広場再整備やペDESTリアンデッキ設置の検討	
担当課	新都市整備推進課	
施策概要	駅利用者の立ち寄り増加による賑わい創出を目指して、城山町3丁目第2地区市街地再開発事業と併せた人の交流・滞留空間を考慮した西口駅前広場再整備や、歩行者の安全性・快適性の向上のため、小山駅東口において大規模な低未利用地の活用（小山駅東口周辺土地利用推進事業）に併せたペDESTリアンデッキの設置を検討し実現を目指します。	
取組時期	短期(～令和7年(2025年))	中長期(～令和22年(2040年))
		

施策名	シェアサイクルの利用促進、ポートの充実、将来的に新たなシェア型パーソナルモビリティの導入検討【詳細は後述】
-----	---

施策名	新駅設置に向けた検討	
担当課	都市計画課	
施策概要	地域の利便性向上や周辺施設へのアクセス利便性向上のため、粟宮地区・羽川地区・犬塚地区での住宅地開発などの新規利用者の増加施策と併せて、新駅設置の可能性を検討し実現を目指します。	
取組時期	短期(～令和7年(2025年))	中長期(～令和22年(2040年))
		

施策名	新駅設置に併せた道路整備の検討	
担当課	都市計画課、道路課、区画整理課	
施策概要	新駅設置に併せて、新駅までのアクセスを確保するための駅前通り線の整備を検討し実現を目指します。	
取組時期	短期(～令和7年(2025年))	中長期(～令和22年(2040年))
		

5-2 目標 2「定住人口と交流人口の増加に向け、子育て世代や交通弱者、来訪者等がより移動しやすい環境の実現」の施策展開

施策名	おーバスの新規路線の追加 重点	
担当課	都市計画課	
施策概要	令和 2 年度運行開始予定のハーヴェストウォーク線と同様に、民間運行シャトルバス・スクールバス・企業バス等の一般旅客化による、おーバスの利便性の向上を検討し、実現を目指します。	
取組時期	短期(~令和 7 年(2025 年))	中長期(~令和 22 年(2040 年))
	→	→

施策名	おーバスの運行本数の増加 重点	
担当課	都市計画課	
施策概要	中心拠点・地区拠点・新都心間や、中心拠点と地域コミュニティ拠点間を結ぶ路線の運行本数の増加を図り、おーバスの利便性を向上します。	
取組時期	短期(~令和 7 年(2025 年))	中長期(~令和 22 年(2040 年))
	→	

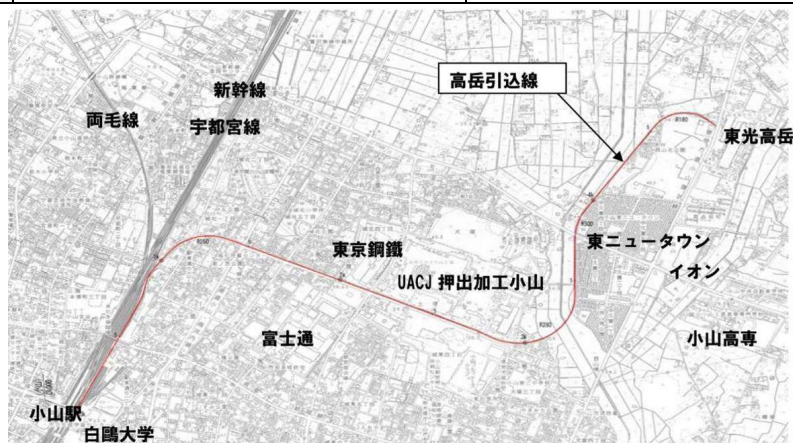


施策名	おーバスの通勤時間に対応した運行時間帯の延長	
担当課	都市計画課	
施策概要	買物や通院の利用だけでなく、駅等への通勤・通学にも利用できるよう運行時間帯の延長を図り、おーバスの利便性を向上します。	
取組時期	短期(～令和 7 年(2025 年))	中長期(～令和 22 年(2040 年))
	➡	

施策名	渋滞等を考慮したおーバス時刻表の整備	
担当課	都市計画課	
施策概要	朝夕の通勤・通学時間帯の道路混雑による遅延の発生を防ぐために、運行実績を踏まえて時刻表を整備します。	
取組時期	短期(～令和 7 年(2025 年))	中長期(～令和 22 年(2040 年))
	➡	


施策名	商業関係者との協働によるバス利用サービスの推進、市内企業等との協働によるバス運行の検討 【詳細は後述】
-----	---

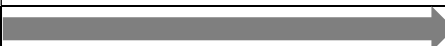
施策名	新交通システム導入検討	
担当課	都市計画課	
施策概要	JR 小山駅から(株)東光高岳まで貨物専用線が敷設されていることから、事業の採算性を踏まえた上で、公共交通の充実と人と企業を呼び込む一つの核として、この空間を活用した新交通システムの導入(LRT等)を目指します。	
取組時期	短期(～令和 7 年(2025 年))	中長期(～令和 22 年(2040 年))
	➡	





出典：小山市まちづくりと新交通の導入検討報告書(小山市まちづくりと新交通の導入に関する検討委員会、平成 29 年(2017 年)3 月)

図 高岳引込線(新交通システム導入検討路線)

施策名	noroca の利用普及	
担当課	都市計画課	
施策概要	マイナンバーカードの普及促進を兼ねて期間を限定して実験的に割引定期を実施していますが、収支状況を踏まえて期限の延長を検討し実現を目指します。また、誰もが公共交通で移動しやすい環境を実現するために、例えば妊婦や子育て世帯等を対象とした noroca 配布を検討し実現を目指します。	
取組時期	短期(～令和 7 年(2025 年))	中長期(～令和 22 年(2040 年))
		

施策名	キャッシュレス決済の導入	
担当課	都市計画課	
施策概要	運賃支払いや noroca 等定期券購入を電子化することで、運賃支払いをスムーズにし、利用者の乗降の利便性向上とともにドライバーの手間を省き公共交通の定時運行につなげるため、おーバスのキャッシュレス決済の導入を検討し実現を目指します。	
取組時期	短期(～令和 7 年(2025 年))	中長期(～令和 22 年(2040 年))
		

施策名	自転車活用推進計画の策定、自転車走行環境の整備	
担当課	建設政策課	
施策概要	栃木県自転車活用推進計画の策定に合わせて、本市でも、自転車交通の役割拡大による良好な都市環境の形成に向けて、自転車活用推進計画を策定するとともに、自転車走行環境の整備を推進します。	
取組時期	短期(～2025 年)	中長期(～2040 年)
		

施策名	MaaS の導入検討(共通定期、乗継強化)【詳細は後述】	
-----	------------------------------	---

施策名	サイクル&バスライドの増設、利用促進【詳細は後述】
-----	---------------------------

施策名	ノンステップバスの導入【詳細は後述】
-----	--------------------

施策名	デジタルサイネージの整備検討【詳細は後述】
-----	-----------------------

施策名	幹線道路等の歩道拡幅等による歩行者空間の確保、バリアフリー化	
担当課	都市計画課、道路課	
施策概要	安全・快適に歩くことのできる歩行者空間の確保を目指して、幹線道路における歩道拡幅を実施するとともに、特に不特定多数の人々が集まる小山駅、間々田駅周辺において、歩道のバリアフリー化に取り組みます。また、災害時における防災・安全性と快適な歩行空間の確保、景観形成の向上に寄与することから、引き続き整備可能な路線を対象に無電柱化を推進します。	
取組時期	短期(～令和 7 年(2025 年))	中長期(～令和 22 年(2040 年))

施策名	狭隘道路の対策検討	
担当課	道路課、都市計画課	
施策概要	歩行者・自転車の安全・快適な移動を目指して、生活道路の中でも狭隘な道路について、道路拡幅・交通規制などの対策を検討し実現を目指します。	
取組時期	短期(～令和 7 年(2025 年))	中長期(～令和 22 年(2040 年))

5-3 目標 3「高齢者の方々がイキイキと活動するための外出環境の実現」の施策展開

施策名	AI型デマンドバス予約システムの導入	重点
担当課	都市計画課	
施策概要	AI型デマンドバス予約システムにより、利用者をより効率的に目的地まで運ぶことで、デマンドバス利用者の増加を図ります。	
取組時期	短期(～令和7年(2025年))	中長期(～令和22年(2040年))
		➡



出典：国土交通省(中部運輸局静岡運輸支局)報道発表資料(令和元年(2019年)10月7日)

図 AI型デマンド交通のイメージ

施策名	定住自立圏に位置付けられた公共交通広域連携の推進(結城市、野木町)	
担当課	都市計画課	
施策概要	デマンドバスの利用者増加を目指して、利用者ニーズを踏まえ、デマンドバスでの結城市・野木町への乗り入れ実現に向け他市との協議などを進めます。	
取組時期	短期(～令和7年(2025年))	中長期(～令和22年(2040年))
		➡

施策名	市民ボランティア・福祉施設の移送車両の活用等互助による輸送の構築	
担当課	都市計画課	
施策概要	郊外部の公共交通不便地域において、特に1人では移動が難しい方でも移動できるように、市民ボランティアや福祉施設と対象者との互助による自家用無償旅客運送の輸送を構築します。	
取組時期	短期(～令和7年(2025年))	中長期(～令和22年(2040年))
		➡

施策名	グリーンスローモビリティ、ライドシェア等の導入検討	
担当課	都市計画課	
施策概要	高齢化が進む地域等の身近な移動を助ける、環境に優しい乗合移動サービスの導入を検討し実現を目指します。	
取組時期	短期(~令和7年(2025年))	中長期(~令和22年(2040年))
		➔

①ゴルフカートタイプ

4~7人乗り



②電動低速バスタイプ

10人乗り



16人乗り



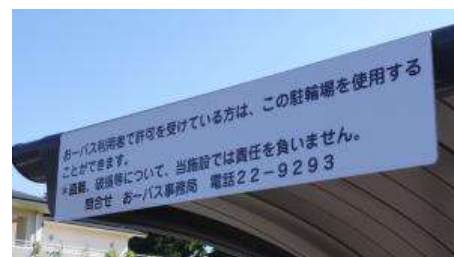
出典；グリーンスローモビリティの導入に向けたポイント集(国土交通省、平成30年(2018年)6月)

図 グリーンスローモビリティの車両イメージ

施策名	サイクル&バスライドの増設、利用促進	
担当課	都市計画課	
施策概要	現在、9路線19箇所のサイクル&バスライドの設備がありますが、更なる利用促進を図るために、市のイベント等を通じて市民への周知の機会を増やすとともに、サイクル&バスライドの施設の増設を目指します。	
取組時期	短期(~令和7年(2025年))	中長期(~令和22年(2040年))
		➔

	民間企業	公共施設
1	うおとみ小金井店	旧桑公民館
2	とりせん羽川店	しらすぎ館
3	とりせん小山東店	大谷公民館
4	とりせん美しが丘店	豊田公民館
5	西堀酒造	穂積公民館
6	イオン小山店	県南体育館
7	スーパーフレッシュ小山店	道の駅思川
8	JR おやま桑支店	マルベリー館(予定)
9	たいらや犬塚店	桑市民交流センター
10	とりせん土塔店	
11	ベイシア(予定)	


出典：小山市 HP



出典：小山市 HP

図 サイクル&バスライド設置箇所

図 バス停、自転車駐輪場に設置の案内看板

施策名	高齢者の運転免許自主返納支援(おーバス終身無料乗車券交付)の継続	
担当課	生活安心課、都市計画課	
施策概要	近年増加傾向にある高齢者による自動車事故を未然に防ぐため、高齢者の運転免許返納を促すとともに、免許証を返納した高齢者の生活の足を確保することを目的に、おーバス終身無料乗車券を引き続き交付します。	
取組時期	短期(～令和 7 年(2025 年))	中長期(～令和 22 年(2040 年))
		


施策名	ノンステップバスの導入	
担当課	都市計画課	
施策概要	子育て世帯や高齢者、車椅子利用者等でも利用しやすい公共交通環境を目指して、おーバス車両を車両更新時にノンステップの車両へ転換していきます。(13 路線中、2 路線未導入(2020 年 1 月時点))	
取組時期	短期(～令和 7 年(2025 年))	中長期(～令和 22 年(2040 年))
		



図 市内のノンステップバス車両

施策名	おーバスの新規路線の追加【再掲、詳細は先述】	重点
施策名	おーバスの運行本数の増加【再掲、詳細は先述】	重点
施策名	渋滞等を考慮した時刻表の整備【再掲、詳細は先述】	
施策名	新交通システム導入検討【再掲、詳細は先述】	

5-4 目標 4「技術革新を見据え、多様な交通手段を選べる環境の実現」の施策展開

施策名	MaaSの導入検討(共通定期、乗継強化)【再掲】 重点	
担当課	都市計画課	
施策概要	鉄道や路線バス、デマンドバス、シェアサイクル等を共通で利用できる定期券の導入、及びアプリによる乗継検索から予約、決済までを一括でできるシステムの構築により、複数の公共交通機関を気軽に利用できる小山版 MaaS の実現を目指します。	
取組時期	短期(～令和7年(2025年))	中長期(～令和22年(2040年))

施策名	AI型デマンドバス予約システムの導入【再掲、詳細は先述】 重点
-----	--

施策名	バスへの自動運転技術活用に向けた検討【詳細は後述】
-----	---------------------------


施策名	シェアサイクルの利用促進、ポートの充実、将来的に新たなシェア型パーソナルモビリティの導入検討	
担当課	建設政策課、都市計画課	
施策概要	主に観光客の回遊性向上に寄与するシェアサイクル「らくーる」の利用促進に資する活動を行います。また、利便性向上のため日常の買い物等にも利用してもらえるよう、走行実績等を踏まえてポートの充実を検討し実現を目指します。さらに、将来的に新たなシェア型パーソナルモビリティの導入を検討し実現を目指します。	
取組時期	短期(～令和7年(2025年))	中長期(～令和22年(2040年))

表 シェアサイクルの配置場所

	設置箇所	利用可能時間
小山市	小山駅(西口)	夏季 9:00～18:00
	間々田駅(西口)	冬季 9:00～16:00
野木町	野木駅	夏季 9:00～18:00
	きらり館	冬季 9:00～16:00
	野木ホフマン館	※きらり館、ホフマン館 については月曜日休館



図 シェアサイクルの利用案内

施策名	デジタルサイネージの整備検討【再掲】	
担当課	都市計画課	
施策概要	市民や来訪者などの公共交通利便性向上を目指して、主要な交通結節点である小山駅や間々田駅等において、バスの運行等の情報提供としてデジタルサイネージの整備を検討し実現を目指します。	
取組時期	短期(~令和7年(2025年))	中長期(~令和22年(2040年))
		

5-5 目標 5「環境や経営にやさしい持続可能な交通環境の実現」の施策展開

施策名	モビリティマネジメントの実施 重点	
担当課	都市計画課	
施策概要	過度に自動車に依存した状態から公共交通等の適切な利用を促進するために、小中高生への公共交通利用促進に関する授業の実施や市のイベントでの公共交通に関する広報活動等を行います。	
取組時期	短期(～令和7年(2025年))	中長期(～令和22年(2040年))
	→	→



おーバス通学のススメ

雨の日や風の日の自転車通学は大変。路面は滑るし、学生服やカバンや荷物、セットした髪が濡れてしまいます。そんな時はバス！**雨の日はバスが安全・安心です。**



おーバス通学なら、本を読んだり、仮眠をとったり、友達とおしゃべりしたり。**いろいろな時間を過ごせます。**

<例えば>

通学時間・片道20分×2(往復)
×200日(授業日数)
×3年間
=400時間



実は安く、お得なおーバス！新発売のおーバス全線バスnorocaなら従来定期券の最大7割引き。休みの日のお出かけに通学路線以外にもどどん活用できます。

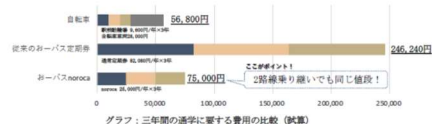



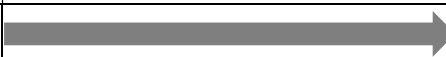
図 小山市 公共交通利用促進冊子


施策名	エコ通勤の推進	
担当課	環境課	
施策概要	通勤時における渋滞緩和及び地球温暖化防止、公共交通サービス水準の向上を目指して、「とちぎエコ通勤 week」に引き続き協賛し、民間事業者に対して、公共交通利活用意識の高揚を図り、自動車から公共交通等による通勤利用への転換を促進します。	
取組時期	短期(～令和7年(2025年))	中長期(～令和22年(2040年))
	→	→

施策名	幹線道路網の整備【再掲、詳細は先述】 重点
-----	---

施策名	市内ボトルネック解消に資する道路改良【再掲、詳細は先述】
-----	------------------------------

施策名	都市計画道路の見直し検討	
担当課	都市計画課	
施策概要	近年必要性が高まってきている外環状線等のような新規路線を都市計画決定するか検討するとともに、20年以上の長期未着手路線のうち、将来的に交通量の減少が見込まれる都市計画道路については廃止等を検討します。	
取組時期	短期(～令和7年(2025年))	中長期(～令和22年(2040年))
		

施策名	バスへの自動運転技術活用に向けた検討【再掲】	
担当課	都市計画課	
施策概要	将来懸念されるバス運転手不足への対応として、おーバスやデマンドバスへの無人での自動運転技術の導入検討を行います。	
取組時期	短期(～令和7年(2025年))	中長期(～令和22年(2040年))
		

施策名	商業関係者との協働によるバス利用サービスの推進、市内企業等との協働によるバス運行の検討【再掲】	
担当課	都市計画課	
施策概要	商業関係者と連携して、バス利用者の場合、バス沿線商業施設で商品割引を適用する等のバス利用促進策を検討し実現を目指します。 また、バスの持続的な運行のための更なる収支改善に向けて、市内企業等との協働による運行を検討し実現を目指します。その第一弾として、ハーベストウォークが運行するシャトルバスを市とハーベストウォークとの協働により路線バス化します。	
取組時期	短期(～令和7年(2025年))	中長期(～令和22年(2040年))
		

施策名	バスオーナーサポーターの拡大	
担当課	都市計画課	
施策概要	持続的なバス運行を目指して、おーバスの路線を応援するおーバスサポーターや、バス停の副停名をつけることができるバス停オーナー制度の周知・拡大により、一般市民と協働してバスを支える仕組みを継続していきます。	
取組時期	短期(～令和7年(2025年))	中長期(～令和22年(2040年))
	